

企業会計ベーシック

中堅社員
新任管理職向け

企業の共通言語である会計の基礎知識と
活用できるスキルが身に付く

企業の課題を会計という視点で分析し対策を考えられる内容

ストーリー仕立てのeラーニングコースです。事業企画部に異動してきた主人公が会計を学ぶ必要に迫られ、友人や家族も巻き込んで会計の勉強を始めます。各章の始めにあるショートストーリーで、彼らはいつも課題にぶつかります。彼らが各レッスンで、課題に対して会計という視点から何を学び、どのように分析し、対策を立てていくのか、学習者もいっしょになって学習を進めていくことができます。

財務諸表の基本P/L、B/S、C/Sを確実におさえます

事業に必要な不可欠な要素は「ヒト、モノ、カネ」と言われています。本コースでは、その中の「カネ」の基本である「財務諸表」についてしっかりとおさえます。損益計算書（P/L）、貸借対照表（B/S）、キャッシュフロー計算書（C/S）の構成を理解したうえで、そこから収益性、安全性、効率性、成長性などを読み取り、分析することを学びます。

計算演習でお金の流れを実感できます

学んだ内容を生かして計算演習に取り組みます。モノとカネが動いたときに、継続を前提とする企業（going concern）の財務諸表がどのように変化していくのか、実際に計算しながら確認します。

理解が進む計算演習

モノとカネの流れによって財務諸表が変化していくことを、計算しながら確認できる計算演習がついています。

2. 部品Aを1000個、部品Bを1000個、部品Cを1000個仕入れました。代金は掛けで翌月払いにしました。

P/L			
B/S			
現金	2,000	買掛金	
原材料		資本金	2,000
左側の合計		右側の合計	

チェック

2. 部品Aを1000個、部品Bを1000個、部品Cを1000個仕入れました。代金は掛けで翌月払いにしました。

P/L			
B/S			
現金	2,000	買掛金	300
原材料	300	資本金	2,000
左側の合計	2300	右側の合計	2300

正解

コース構成

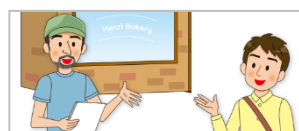
課題の提示

各章の始めで、主人公が直面する問題は何であるかが明らかにされます。



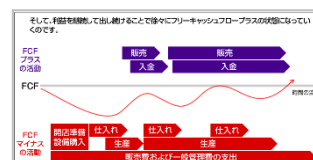
問題点の気づき

登場人物の会話により、直面する問題の背景にあるのは何か、明らかにしないといけないことは何か、気づきを促します。



手法の説明

各テーマにふさわしい知識・手法を説明します。



チェック

確認テスト、エクササイズ、計算演習で学んだ内容を確認します。

A社とB社のP/Lを比較して、下の文章の()に当てはまる語句を入れなさい。

	A社	B社
売上高・営業収益	180,000	120,000
売上原価	60,000	65,000
売上総利益	120,000	55,000
販売費および一般管理費	100,000	18,000
営業利益	20,000	37,000

ショートストーリーはこんな内容です

会計は企業の共通言語

財務諸表には何が書いてあり、それをどのように見ればよいのか、賢一さんといっしょに理解していきます。



アンリさんとの再会

会計の勉強を続けている賢一さん、アンリさんと一緒に財務諸表を作ることができるでしょうか？



アンリさんの心配

アンリさんのお店は預金が増えません。なぜ？ 賢一さんは説明できるようになるでしょうか？



アンリさんに競合現る！

賢一さんは、競合対策で行う値下げの影響を、損益分岐点を使って説明しようとがんばります。



アンリさん、新しい注文を悩む

賢一さんは、大量受注のための投資や値下げの影響を予測できるでしょうか？



賢一さん、発注先を決める

賢一さんは、今まで培ってきた会計の知識をもとに発注先を検討し、決定できるでしょうか？



コース目次

イントロダクション

営業から事業企画？

第1章 財務諸表とは

- Lesson1 3つの財務諸表
- Lesson2 損益計算書(P/L)
- Lesson3 貸借対照表(B/S)
- Lesson4 損益計算書(P/L)の見方
- Lesson5 貸借対照表(B/S)の見方

第2章 財務諸表の仕組み

- Lesson1 P/LとB/Sの仕組み(実取引と、財務諸表の変化)
- Lesson2 取引による P/L、B/S の変化
- Lesson3 損益計算書に計上するルール(3つの原則)
- Lesson4 損益計算書への計上(1)収益と費用
- Lesson5 損益計算書への計上(2)減価償却費
- Lesson6 決算の確定
- Lesson7 計算演習

第3章 キャッシュフロー計算書

- Lesson1 なぜ、キャッシュフロー計算書が必要なのか
- Lesson2 キャッシュフロー計算書の構成
- Lesson3 営業キャッシュフロー:間接法による計算
- Lesson4 投資キャッシュフローや財務キャッシュフロー:直接法による計算

- Lesson5 財務諸表の見方
- Lesson6 キャッシュフロー計算書の見方と事業のライフサイクル
- Lesson7 計算演習

第4章 コスト分析と損益分岐点

- Lesson1 変動費と固定費と損益分岐点
- Lesson2 限界利益と損益分岐点売上高の求め方
- Lesson3 損益分岐点計算の応用

第5章 予測財務諸表

- Lesson1 今期の収支を予測する(値下げの影響)
- Lesson2 損益計算シミュレーション
- Lesson3 予測財務諸表
- Lesson4 計算演習

第6章 会社の見方

- Lesson1 P/L では売上と利益を確認
- Lesson2 B/S では借入金と自己資本率を確認
- Lesson3 P/L と B/S を見る
- Lesson4 最後に

章ごとに「まとめ」「確認テスト」「エクササイズ」があります。

- 受講期間:6カ月(＋閲覧期間6カ月)
- 標準学習時間:10時間
- 対象者:新任管理職および管理職候補
- 価格(税別): ¥ 14,000

- チュータによる個別指導:なし
- ※研修運営費用含む

マネジメントスキルシリーズ コースラインナップ

中堅社員・新任管理職 のキャリアアップに最適なコースがラインナップされています。

コース名	標準学習時間	価格(税別)
企業会計ベーシック(本コース)	10時間	¥ 14,000
会議の目的とファシリテーション	10時間	¥ 14,000
課題設定力と解決実行プロセス	10時間	¥ 14,000
売れる仕組みをつくりだすマーケティング	10時間	¥ 14,000
チームが活性化するコミュニケーション	10時間	¥ 14,000
成果を出すタイムマネジメント	10時間	¥ 14,000
説得力のあるプレゼンテーション	10時間	¥ 14,000
目標を達成させるリーダーシップ	10時間	¥ 14,000
目標を達成させるリーダーシップ 中国版	10時間	¥ 14,000
パフォーマンスを上げるロジカル・シンキング	10時間	¥ 14,000
パフォーマンスを上げるロジカル・シンキング 中国版	10時間	¥ 14,000
学びながら実践 タイムマネジメント	20時間	¥ 46,250
学びながら実践 ロジカル・シンキング	20時間	¥ 46,250

マネジメントに必要なさまざまな資質

コンセプチュアル・スキル

課題解決
『課題設定力と解決実行プロセス』

ロジカル・シンキング
『パフォーマンスを上げるロジカル・シンキング』
『学びながら実践 ロジカル・シンキング』

ヒューマン・スキル

コミュニケーション
『チームが活性化するコミュニケーション』
プレゼンテーション
『説得力のあるプレゼンテーション』
リーダーシップ
『目標を達成させるリーダーシップ』
ファシリテーション
『会議の目的とファシリテーション』

テクニカル・スキル

会計
『企業会計ベーシック』
マーケティング
『売れる仕組みをつくりだすマーケティング』
タイムマネジメント
『成果を出すタイムマネジメント』
『学びながら実践 タイムマネジメント』

マネジメントに必要なさまざまなスキルの中で、本コースはテクニカル・スキルの一部である「会計」に焦点を当てています。